

◎箱根一貫教育の合言葉

『箱根を愛し
かしこく やさしく たくましく』

◎湯本幼児学園個性化目標

『異年齢保育を生かした園づくり』

りずむ No.9

令和6年12月24日 箱根町立湯本幼児学園

あわただしい年の瀬！今年も残すこと一週間となりました。今年は11月に入っても夏日という日があり、秋が短い一年でした。昨日は園庭に霜が降り、子どもたちは大喜びし、凍える小さな手で霜をすくい上げバケツをいっぱいにしていました。子ども達は自然現象を日々身近に感じる中で、五感がたっぷり刺激され脳が活性化されています。その瞬間『霜ってなんて冷たいだろう』『朝は晴れててもいつも滑り台が濡れているのはなんでだろう』と言葉に出さずとも子どもたちは疑問を感じ、その中で自然の流れや生命について学んでいるのです。

9月に始まり、子どもたちは夏の間蓄えた『やってみたい』『できるまで頑張る』『できる！』という意欲や目標を一人一人が自然と持って生活していました。運動遊びでできるが増えると、イメージを膨らませて、『これを作りたい』『友達と一緒に楽しい』『動かしたい』と造形遊びにも興味が移り変わりました。築紫さんの自然と遊ぼうでは、年長児がなたを手に薪割を体験しました。大人が扱うものに触れることの意義はとても大きなものです。様々な経験がしっかりと子どもの育ちにつながっているのです。こうして無事二学期が終了したことは、ご家庭のご理解ご協力があつたからこそです。ありがとうございました。三学期はさらに成長の著しさを感じる時期です。その時々の子どもの様子をクラスだより・園だよりなどで発信していきたいと思ひます。

サンタパーティ&バザー

『夢を叶える』とは、まだ見えない未来を信じてポジティブな思考を身につけ、具体的な目標を立て、達成感を味わいながら成長していくこと。逆上がりができるようになりたい⇒できた⇒何回も回るなど子どもの夢はどんどん膨らんでいくのです。サンタクロスに合った瞬間をイメージしながら過ごした一か月間。ママやパパと一緒に遊びたい、作りたいも具体的な夢だったんです。

子どもにとって、素晴らしい一日になったことは確かです。

アンケートの記入をしていただき、ありがとうございました。

オーナメントを作る時間が少なかったクラスもありますが、次の日『ママだったらこれ選ぶだろうな』『もっとたくさん飾りをつけよう』と自分が納得いく作品を作っていました。その過程が大事で心ゆくまで…気持ちを含めて…作った作品を大事にしてくださいね。

スマホのアイコンにしたり、飾り方を工夫したりすると大切にされている実感が沸きます。

白山神社・書初め展

- ・ 『来年はへび年、み年ともいうのよ』
- ・ 『来年したいこと、叶えたい夢を書いても良いね』
- ・ 『書きたい字でもいいよ』
そんなことから書初めコーナーを用意しました。
- ・ 『へびがいい』
- ・ 『私は虫が好きだからむし』
- ・ 『僕ははこねって書きたい』
- ・ 『Iねんせいになりたい』

と会話を楽しみながら、『落ち着いて書いてほしいから待つときは正座で静かにね』

真剣に書き、書き終わると『はあ』と息を吐きだす。こんな経験もたまには必要！

年未年始、総代さんのご厚意で展示していただけることになりました。是非初詣にお散歩しながら立ち寄ってみてください！



出初式(1/14・11時頃・湯本富士屋ホテル)
今年湯本幼児学園の4.5歳児が歌やダンスを披露します。ぜひ見に来てください！